

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

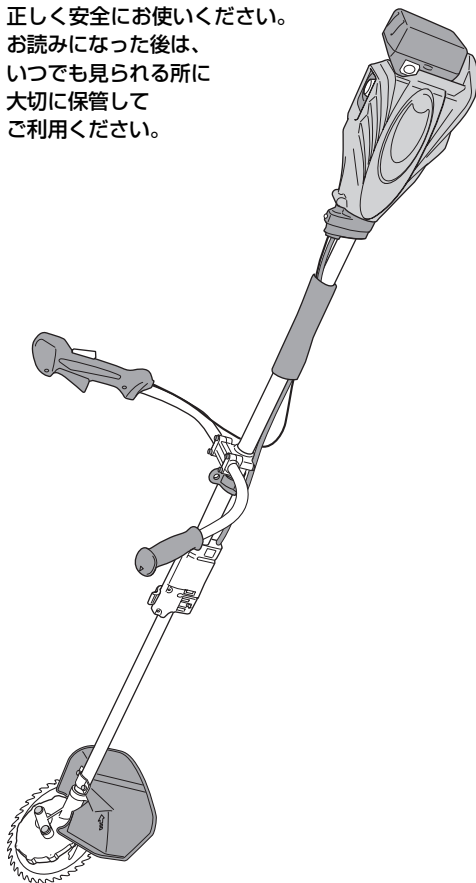
保証書付

用途

- 一般の草刈り、雑草刈り

日立 コードレス刈払機 18V CG 18DSCL

このたびは日立コードレス刈払機をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



警告表示について	1
コードレス工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	9
各部の名称	11
標準付属品	12
仕様	13
別売部品の紹介	14

はじめに

ご使用前の準備

ハンドルの取付け	
メインパイプの伸ばし方	
飛散防護カバーの取付け	
刈刃の取付け	
ナイロンコードカッタ (別売部品) の取付け	
ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー (別売部品) の取付け	
肩掛けバンドの取付けと使い方	
通電ランプについて	21
レバー操作とブレーキについて	21
電池残量表示について	22
変速ダイヤルについて	22
充電する	23
草を刈る	25
刈払い作業上のご注意	27

使い方


保守・点検・整備	28
保管方法	30
故障診断	32
ご修理のときは	34
保証書	裏表紙

その他

HITACHI

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

	取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。		切削物の飛散方向に注意してください。
	保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。		キックバックに注意してください。
	飛散防護カバーを所定の位置に取付けてください。		運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。
	刈刃を遠ざけるように両手で持って、運搬してください。		
		刈払機の作業員から15 m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときも、この距離は守ってください。	

警告、注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「警告」、「注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容にご注意。

注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容にご注意。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 付属の充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠ 警告

- ⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
 - 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⚠ 注意

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- 保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

② 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

③ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れた人には工具を使用させたり、貸さないでください。

- 初めて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑤ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

- 足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑥ 始動前に刈刃を点検してください。

- 刈刃にヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 刈刃が確実に取付けられているか確認してください。刈刃が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑦ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて作業してください。

- 取りはずして作業すると、けがの原因になります。

⑧ ハンドルは必ず取付けて作業してください。また、ガタつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。また、刈刃は右から左に掃くように作業してください。

- 作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

⑨ モーターを始動する場合は注意してください。

- 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
- 刈刃が地面や草木などに触れていないことを確認してください。不用意な始動は、けがの原因になります。



警告

- ⑩ ロックレバーを固定しないでください。
- 誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- ⑪ 機体からはなれるときは、電源ボタンを押して、電源OFFにしてください。
- ⑫ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。
- ⑬ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。
- 刈刃の損傷や、けがの原因になります。
- ⑭ 回転速度をむやみに上げないでください。
- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
 - 作業の負荷に応じてダイヤルを調整しながら使ってください。
- 飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑮ 回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。
- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。
- ⑯ 次の場合はモーターを停止し、電源を切り、刈刃の動きが止まるのを確認してください。
- 作業場所を移動する場合。
 - 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
 - 機体を身体からはずす場合。
- 刈刃が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。
- ⑰ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。
- また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。
- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
 - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
 - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑱ 刈刃部に草などが巻き付いたときは、すぐにモーターを停止し、電源を切り、蓄電池を取りはずしてから取除いてください。
- 刈刃が停止していない状態で取除こうとすると、けがの原因になります。
 - 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。
- ⑲ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにモーターを停止し、電源を切り、蓄電池を取りはずし、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

⚠ 警告

- ⑳ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- ㉑ 運搬・短縮時は刈刃を身体から遠ざけてください。両手で保持し周囲に注意してください。
 - 刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- ㉒ 刈刃カバーを付属の工具袋に必要なときにすぐ使えるように入れ、常に機体の側に置いてください。
- ㉓ 機体の運搬・メインパイプの伸縮・保管する場合は、蓄電池を取りはずして、刈刃をはずすか、刈刃カバーをかぶせてください。
 - 刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- ㉔ 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。
 - 特に、メインパイプを短縮した状態では、バランスをくずして、けがをする恐れがあります。
- ㉕ メインパイプの伸縮時は機体から肩掛けバンドをはずし、地面において行ってください。また、必ず電源をOFFにし、蓄電池を取りはずしてください。
- ㉖ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。
 - 事故の原因になります。

⚠ 注意

- ① 刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。
- ② 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
 - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ③ 機体を立てて置かないでください。
 - 不意に倒れ、思わぬけがや故障の原因になります。
- ④ 刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - 不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ⑤ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。
 - 破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑥ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。
 - 警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。

⚠ 注意

- ⑦ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑨ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。
本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
18V蓄電池 (BSL 18 xxシリーズ) の場合：電池電圧約 10Vまで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② コードレス工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

⚠ 警告

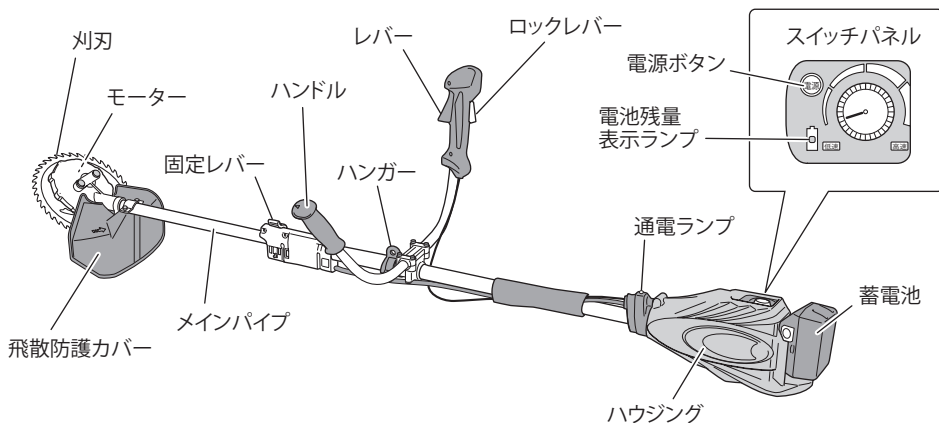
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

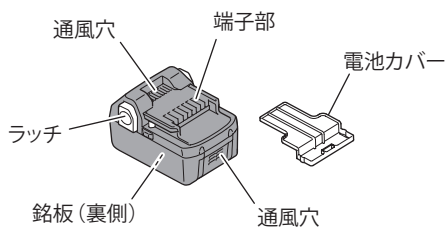
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

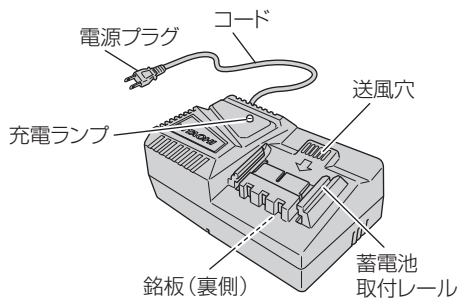
工具本体



蓄電池





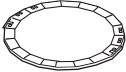
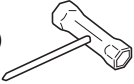



充電器



標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品名(形名)	工具本体 仕様	CG 18DSCL	
		LSC	NN
蓄電池 (BSL 1830)		1 個 (本体装着)	—
電池カバー		1 個	—
充電器 (UC 18YFSL)		1 台	—
チップソー (外形 230 mm)		1 枚	1 枚
刈刃カバー		1 式	1 式
六角棒スパナ (M5 ねじ用)		1 個	1 個
ボックススパナ (19 mm × 13 mm)		1 個	1 個
保護メガネ		1 個	1 個
肩掛けバンド		1 個	1 個
工具袋		1 個	1 個

仕 様

1. 工具本体

形 名	CG 18DSCL
操 作 ハ ン ド ル	両手ハンドル
刈 刃	チップソー(外形 230 mm×内径 25.4 mm×刃数 36)
刈 刃 回 転 方 向	上から見て反時計方向
刈 刃 回 転 数	3,500 ~ 5,000 min ⁻¹
工 具 本 体 寸 法 (全長×全幅×全高)	延長時: 1,860 mm×620 mm×420 mm 短縮時: 1,300 mm×620 mm×420 mm
質 量(刈刃、肩掛けバンド除く)	4.6 kg (BSL 1830 装着時)
通 電 ラ ン プ	赤色LED
運 転 時 間 [気温 20℃満充電時]※	BSL 1430 使用時: 20 ~ 40 分 BSL 1830 使用時: 30 ~ 50 分
モ ー タ ー	ディスクモーター
蓄 電 池	円筒密閉型リチウムイオン蓄電池
残 量 表 示 ラ ン プ	赤色LED

※ ● 草の種類や刃物の切れ味、刈刃回転数、周囲温度、蓄電池特性などにより異なることがあります。

- 14.4 V電池 BSL 1430 も使用できます。

2. 充電器

形 名	UC 18YFSL
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間	BSL 1430、BSL 1830 … 約 45 分 (気温 20℃時)
充 電 電 圧	14.4 V — 18 V
充 電 電 流	BSL 1430 / BSL 1830 / BSL 1415 : 3.5 A
コ ー ド	2心ビニールコード
質 量	0.5 kg
使 用 温 度 範 囲	0℃ ~ 40℃
冷 却	対応 (ファン付き)

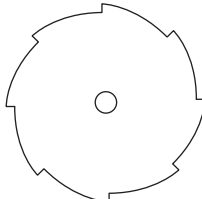
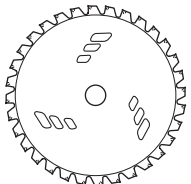
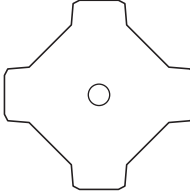
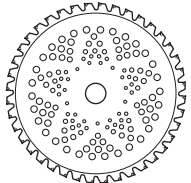
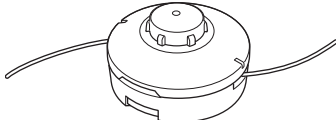
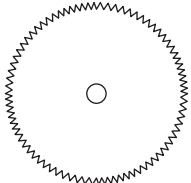
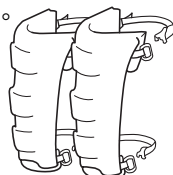
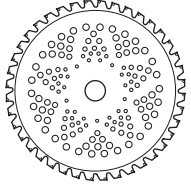
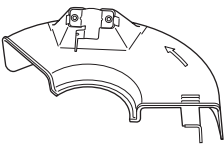
3. 蓄電池

形 名	BSL 1830
電 池 電 圧	18 V
容 量	3.0 Ah
冷 却	対応

別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

<p>スーパーチップソータイプ (レーザースリット+軟質特殊樹脂仕様) 外径 230 mm× 32 枚</p> 	<p>巴刃 外径 230 mm× 8 枚</p> 
<p>チップソー標準タイプ (窓有仕様) 外径 230 mm× 32 枚</p> 	<p>角形 4 枚刃 外径 230 mm× 4 枚</p> 
<p>チップソー軽量タイプ (メッシュ仕様) 外径 230 mm× 36 枚</p> 	<p>ナイロンコードカッタ 打撃タイプ 外径 110 mm</p> 
<p>丸のこ刃 外径 230 mm× 80 枚</p> 	<p>すね当て (1 組 2 個入り) 飛散物から足を守ります。</p> 
<p>下刈用チップソー軽量タイプ (メッシュ仕様) 外径 230 mm× 60 枚</p> 	<p>飛散防護カバー組 (ナイロンコードカッタ用)</p> 

ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、初めてご使用になるとき、分解して保管していたとき、刈刃を交換するときは、次のように組み立ててください。

⚠ 警告

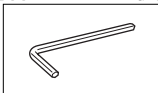
万一の事故を防止するため、必ず電源OFFし、蓄電池を本体から抜いてください。

⚠ 注意

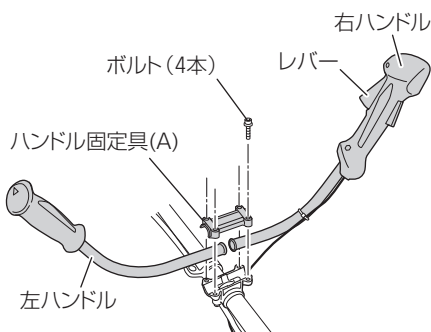
刈刃の取付け・取りはずしの際には、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

●ハンドルの取付け

注 取付けには付属の六角棒スパナを使用します。



- ① ハンドル固定具(A)に仮止めしてあるボルト(4本)をはずします。
- ② 右側にレバーが付いている右ハンドルを、左側に左ハンドルを取付け、ハンドル固定具(A)をボルト(4本)で確実に固定します。

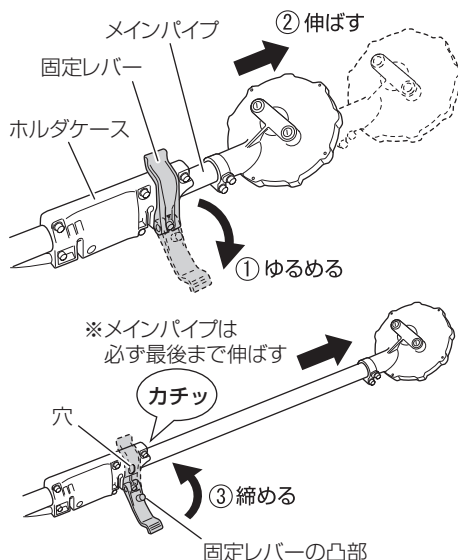


●メインパイプの伸ばし方

- ① 固定レバーをゆるめると、メインパイプを伸縮させることができます。
- ② メインパイプを最後まで伸ばし、「カチッ」と音がすることを確認してください。

注 メインパイプを最後まで伸ばさない
と、モーターが回転しません。

- ③ 「カチッ」と音がするまで伸ばしたら、ホルダケースの穴とメインパイプの穴の位置が一致することを確認し、固定レバーを締め、メインパイプを確実に固定します。



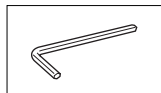
●飛散防護カバーの取付け

⚠ 警告

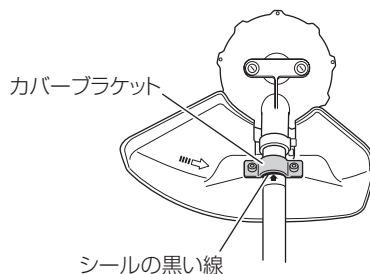
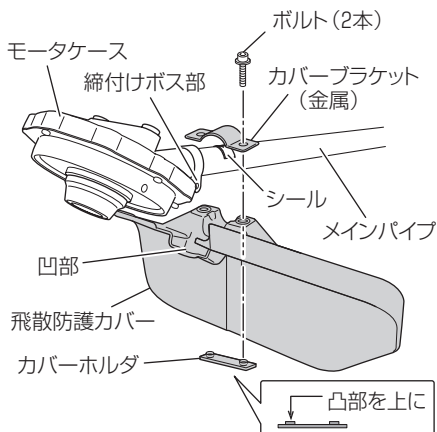
飛散防護カバーは必ず所定の位置に確実に取付けてください。

小石等が飛散した場合、けがの原因になります。

注 取付けには付属の六角棒スパナを使用します。



- ① モーターケースの締付けボス部と飛散防護カバーの凹部を合わせ、メインパイプの上側にカバーブラケットを当て、ボルト(2本)を飛散防護カバーの穴までさし入れます。
- ② 飛散防護カバーの下側にカバーホルダを当て、付属の六角棒スパナでボルト(2本)を交互に締付け、確実に固定します。
- ③ メインパイプに付いている矢印シールの黒い線とカバーブラケットの位置が合っていることを確かめます。合っていない場合は、ボルト(2本)をゆるめて、調整してください。

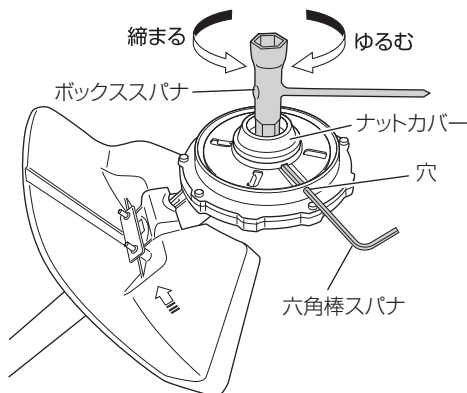
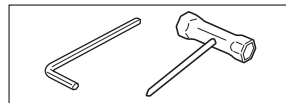


● 刈刃の取付け

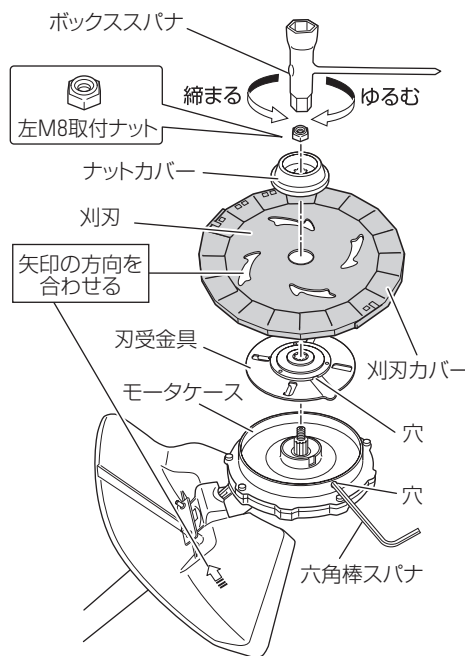
⚠ 警告

- 取付ける前に刈刃にヒビ割れ、変形などがないか、よく調べてから取付けてください。
- 刈刃を取付ける際は、刈刃カバーを取付け刈刃の中心穴を刃受金具の凸部に入れ、ナットカバーで刈刃を挟むようにし、刈刃の中心がずれないように確実に締めてください。(P18「正しい取付け」参照)
- 刈刃取付け後は忘れずに六角棒スパナ、ボックススパナをはずしてください。
- 左M8取付ナット、ナットカバーが摩耗している場合は新品と交換してください。

- 注** • 刈刃、ナイロンコードカッタは P 14「別売部品の紹介」に指定の純正品を使用してください。
- 取付けには付属の六角棒スパナ、ボックススパナを使用します。

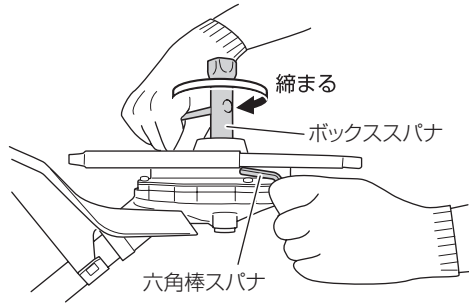


- ① 本機を図のようにさかさにします。
- ② 刃受金具の穴とモータケースの穴を合わせ、付属の六角棒スパナを確実に奥までさし込み、回り止めをします。
- ③ 付属のボックススパナで左M8取付ナットを右に回しゆるめ、左M8取付ナット、ナットカバーをはずしてください。
- ④ 刈刃の取付けは、刃受金具の穴とモータケースの穴に六角棒スパナをさし込み、刃受金具に刈刃(刃の向きを確認して)、ナットカバーの順序で取付けます。



- 注** 確実に回り止めしてから左M8取付ナットの締め作業、ゆるめ作業をしてください。
刃受金具が変形し、回り止め故障の原因となります。

⑤ 左M8取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして確実に締付けてください。

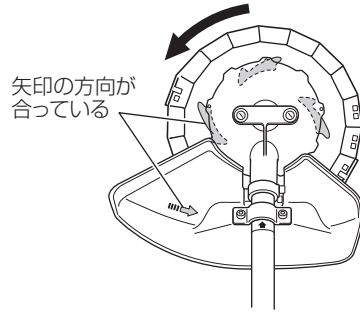
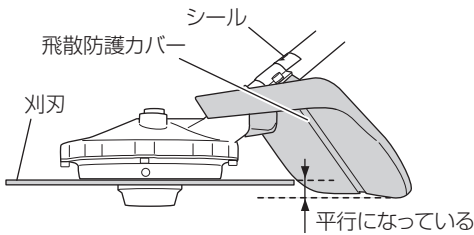


⑥ 刃が正しく取付けられていることを確認してください。また、刃が飛散防護カバーの内側になっていることを確認してください。

また、刃と飛散防護カバーの底面が平行になっていることを確認してください。

ズれている場合は、再度飛散防護カバーを取付け直してください。

(P 16「飛散防護カバーの取付け」参照)



正しい取付け	間違った取付け (例)

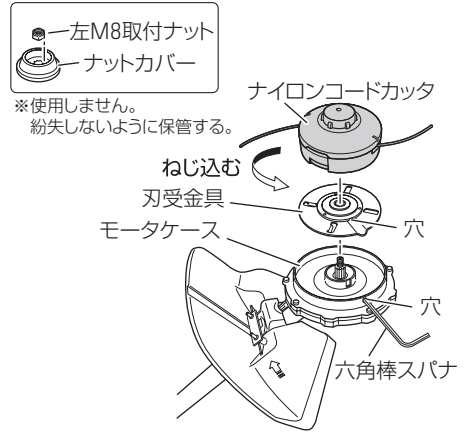
●ナイロンコードカッタ (別売部品) の取付け

⚠ 警告

標準付属の飛散防護カバーは刃物専用です。ナイロンコードカッタご使用时には、必ずナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー (別売) を取付けのうえ、セットでご使用ください。

- ① P 17 「刈刃の取付け」①～③の要領で左M 8 取付ナット、ナットカバーを取りはずしてください。
- ② 六角棒スパナで回り止めしながら、ナイロンコードカッタをモーターケースのねじ部に直接ねじ込んでください。

注 使用しない左M 8 取付ナット、ナットカバーは紛失しないように保管してください。

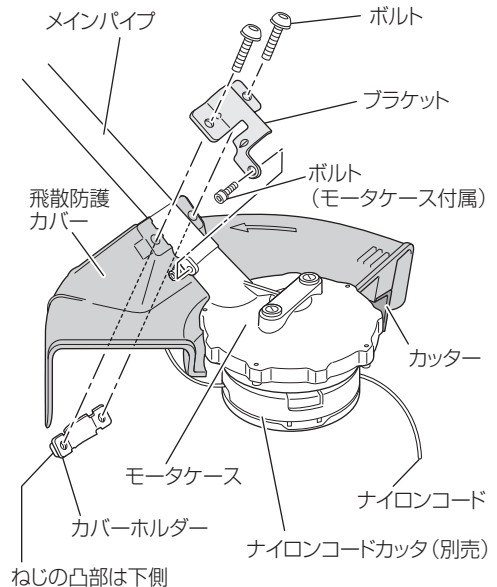


●ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー (別売部品) の取付け

⚠ 注意

厚手の手袋を着用するなど、十分に注意して作業してください。飛散防護カバーのカッターで指をけがする恐れがあります。

- ① 標準付属の飛散防護カバーを取りはずしてください。
(取りはずし方は、P 16 「飛散防護カバーの取付け」の逆順序により取りはずしてください。)
- ② 六角棒スパナでボルト (モーターケース付属) を一度取りはずします。
- ③ はずしたボルトで、ブラケットを軽く取付けておきます。
- ④ 飛散防護カバーをブラケット、カバーホルダー、ボルト (2 本) でメインパイプに固定します。
- ⑤ ③ で仮締めしたボルト (モーターケース付属) をしっかりと締付けてください。



●肩掛けバンドの取付けと使い方

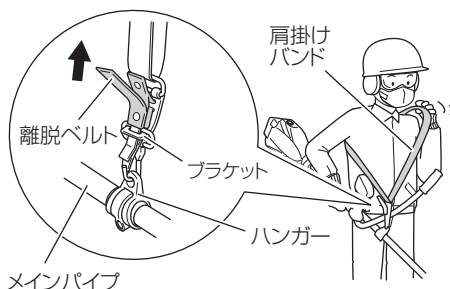
⚠ 警告

- 作業時は肩掛けバンドを必ず着用し、機体を正しく保持してください。
- 危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの離脱ベルトを引いて、刈払機を身体からはなしてください。
- 作業時以外は肩掛けバンドを機体からはずしてください。
特に、メインパイプを短縮した状態では、バランスをくずして、けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- 離脱時は他方の手で機体のメインパイプを持ちながら離脱ベルトを引ってください。
本機を支えないで離脱ベルトを引くと本機が足の上に落ち危険です。
- 作業前に離脱機能に異常のないことを確かめてください。

- ① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。
肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。
- ② 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。
- ③ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。
軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。



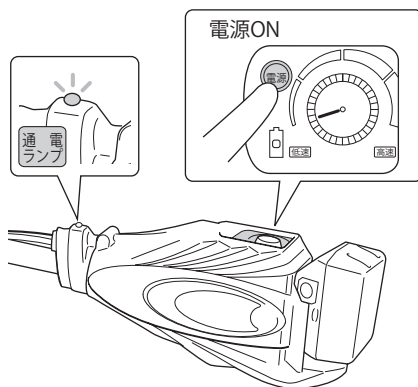
使い方

通電ランプについて

本機は通電ランプによりさまざまなお知らせをします。

ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ表示	本機の状態
消灯	電源OFF
赤点灯	電源ON 作動できる状態です。
赤点滅	保護回路作動中です。 P 27「過負荷保護回路について」を参照してください。
赤の速い点滅	メインパイプが最後まで伸びていないため、作動できない状態です。

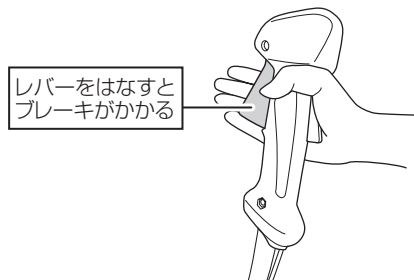
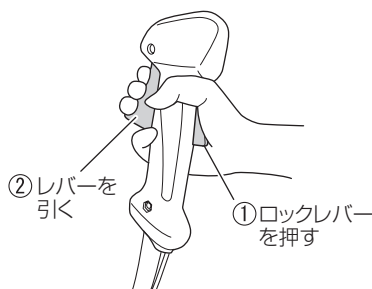


レバー操作とブレーキについて

電源ONの状態ではロックレバーを押しながらレバーを引くと、刈刃が回ります。

また、本機はレバーをはなすと、1～3秒後に刈刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前にブレーキがかかることを確認してください。



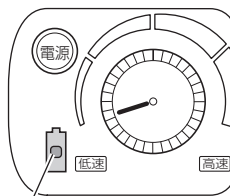
電池残量表示について

⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

電池残量が少なくなるとランプが点滅します。早めに充電してください。

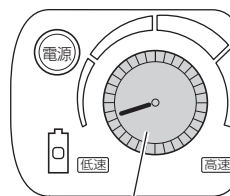
電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。



電池残量表示ランプ

変速ダイヤルについて

ハウジング部には回転数を 3,500 ~ 5,000 回転に変速する変速ダイヤルが付いています。変速ダイヤルを時計回りに回すと高速、反時計回りに回すと低速になります。



変速ダイヤル

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V用です。200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

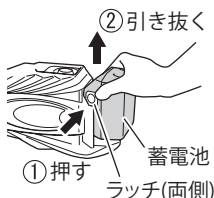
コンセントががたついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P24「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



• 蓄電池をしっかり突き当たるまでさし込んでください。

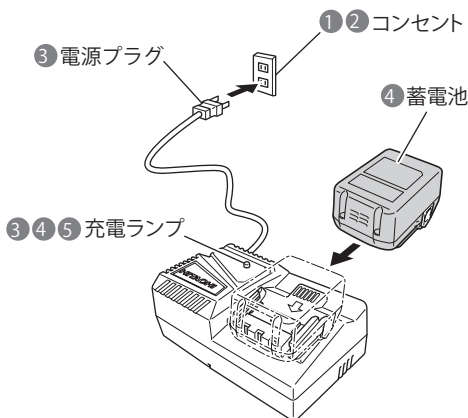
• 充電を開始すると、充電ランプが赤に連続点灯します。

⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。


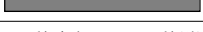

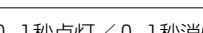
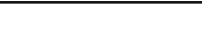


充電時間：約45分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついてます。ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		表示内容
点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点灯	連続点灯 	充電中
点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	充電完了
遅い点滅	1秒点灯／0.5秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あり。

- 注**
- 赤の速い点滅(0.1秒点灯／0.1秒消灯)を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
 - 一度充電が完了した後、次の充電まで15分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 炎天下での使用や工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめて充電してください。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外での使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

草を刈る

⚠ 警告

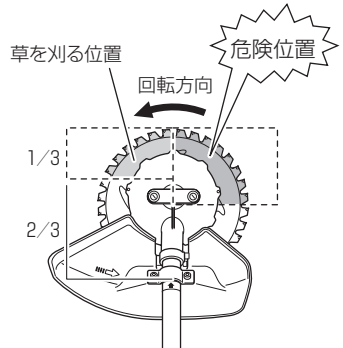
- 刈刃カバーを取付けたまま、レバーを引かないでください。
- 常に足元をしっかりとらせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。あまり急でない急傾斜地で使用する場合は等高線方向に刈り進んでください。
- 刈刃が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中刈刃をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 他の人を15m以下に近づけないでください。
- 電源ONにしたまま本機を放置しないでください。事故の恐れがあります。

オートパワーOFFについて

電源ONで、レバーが引かれない状態が1分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。電源を入れるためには、再度電源ボタンを押してください。

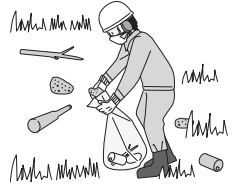
刈払いのコツ

- 回転が低すぎると力がなく、草もからみやすくなります。回転が高すぎると刈刃磨耗が速くなる、振動・騒音が大きくなる、電池消費が多くなるなどの原因になります。
- 回転速度をむやみに上げると、電池の消耗を早めます。
- 右図に示す刈刃直径の1/3の部分で刈ると、切れ味がよく、また草の巻き込みも少なく能率的です。
- 刈刃の跳ね返り（キックバック）に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢いよく跳ね返されますので注意してください。



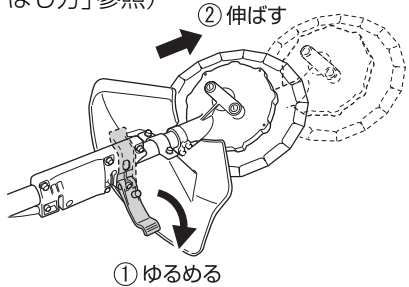
1 作業場所を整備する

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛ばされることがあります。
- 取除く事のできない物は、あらかじめ目印を付けてください。



2 メインパイプを伸ばす

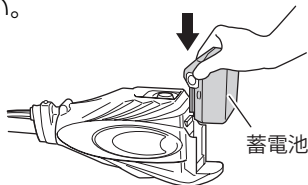
メインパイプを最後まで伸ばしてください。（P 15「メインパイプの伸ばし方」参照）



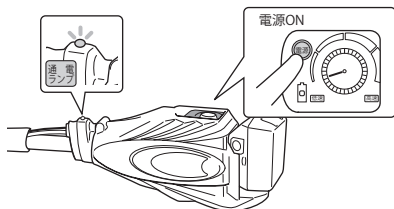
3

蓄電池を取付けて電源を入れる

- 下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



- ハウジング部の電源ボタンを押すと、電源ONとなり、ハンドル部の通電ランプが赤く点灯します。
- 再度電源ボタンを押すと、電源OFFとなり、ハンドル部の通電ランプが消灯します。



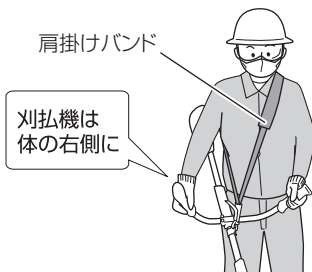
- 注** メインパイプが最後まで伸びていないと、通電ランプが赤く速い点滅をします。

4

刈払機を保持する

- 肩掛けバンドを右手と頭に通して左肩にかけます。(P20「肩掛けバンドの取付けと使い方」参照)

- 注** 本機は、刈払機を体の右側で操作する構造となっております。刈払機を体の左側で使用しないでください。



- ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。

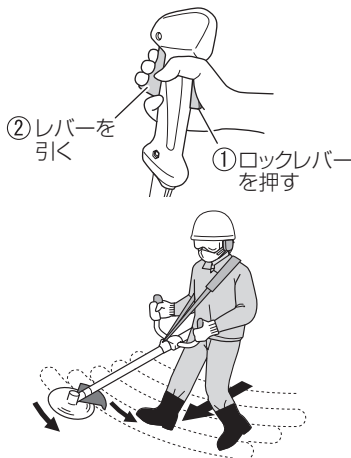


5

草を刈る

- 右手でハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引くと刈刃が回転します。
- 体重の移動が容易で、安全な体勢をつくってください。
- メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。
- 刈払い作業をしないときはレバーをはなし、必ず回転を停止してください。

- 注** モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、故障の原因になります。



刈払い作業上のご注意

●温度保護回路について

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

複数の蓄電池を連続して使用する場合、機体の温度が上昇することがあります。このとき、温度保護回路が作動し、回転が下がります。温度保護回路作動中は通電ランプが赤く点滅します。

その際は本機を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

●過負荷保護回路について

本機は機体の制御を行っている電子部品を保護するため、過負荷保護回路が搭載されています。刈払い作業中に過負荷（刈刃のロック等）が続く場合、過負荷保護回路が作動しモーターが停止します。その際はいったん電源をOFFし、過負荷の原因を取除いてください。

モーター停止後もレバーが引かれていると通電ランプが赤く点滅します。通電ランプの点滅が 5 秒間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。その際は過負荷の原因を取除いてから、もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。

保守・点検・整備

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ず電源OFFし、蓄電池を工具体体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 刈刃の点検

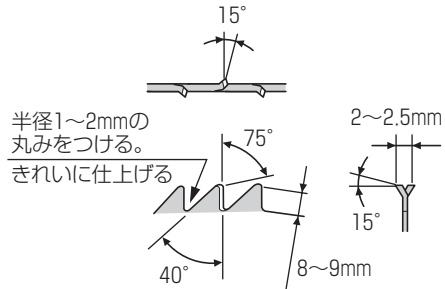
刈刃に刃先の欠け、ヒビ割れ、傷、曲がり、偏心などがなければ必ず点検してください。異常がある場合は、新品と交換してください。なお、点検の際は、必ず手袋などで手を保護し十分注意してください。

● 刈刃のとぎ方

切れ味が悪くなった刈刃をそのまま使用すると能率が悪くなります。目立てヤスリなどで、早めにといでください。

(1) 丸のこ刃のとぎ方

刃の谷に割れが起こらないように、必ず半径1～2mmの丸みをつけてください。アサリ幅は2～2.5mmが適当です。

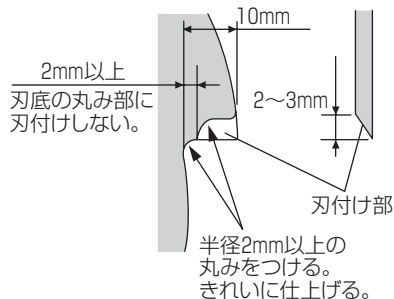


(2) 巴刃のとぎ方

⚠ 警告

- 刃底の部分には必ず2mm以上の丸みをつけてください。
- 刃付けは刃底の丸み部に付けないで、刃底から2mm以上離れた位置から付けてください。
- 8枚の刃を平均にとぎ、バランスに注意してください。

巴刃をとぐ場合は右図のようにとぎます。巴刃のケースに記載してある「刃型ゲージ」を利用しますと、刃とぎが容易にできます。



●取付ねじの点検

ご使用前に点検して、ゆるんでいたら、締直してください。
そのまま使用すると危険です。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

注 作業後は、メインパイプに付着した草や土などの汚れをよく落としてください。
メインパイプの伸縮ができなくなることがあります。

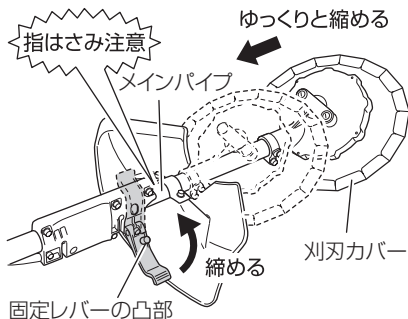
●本体の運搬

⚠ 警告

- 蓄電池をはずして、刈刃に刈刃カバーを取付けて本体を運搬してください。刈刃カバーを取付けずに運搬すると、刈刃が身体に触れて、けがの原因になります。
- 刈刃を遠ざけるように両手で持って、運搬してください。

固定レバーをゆるめ、メインパイプを縮めます。固定レバーの凸部がメインパイプに突き当たるまで縮めます。これで本体をコンパクトにすることができます。

伸縮は、どの位置でも固定できます。運搬・保管しやすい長さに固定してください。



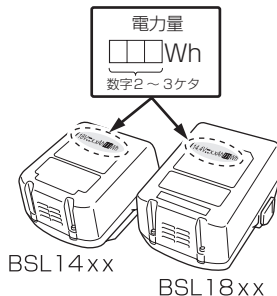
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



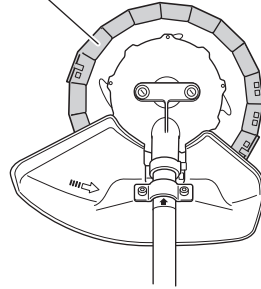
保管方法

損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。

刈払機を移動、保管する場合は安全のため、必ず蓄電池を取りはずして、付属の刈刃カバーを取付けてください。

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

刈刃カバー



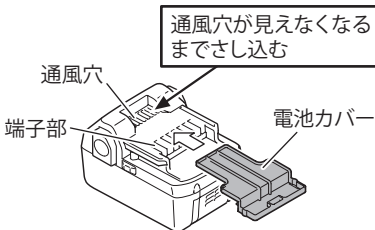
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



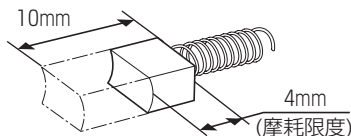
- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(4mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ(コードNo. 999016)を使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

1

ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。

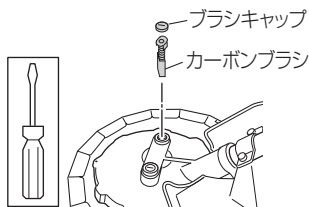
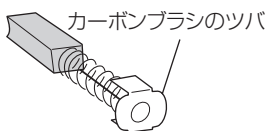
ブラシキャップ(2個)



2

カーボンブラシを取出す

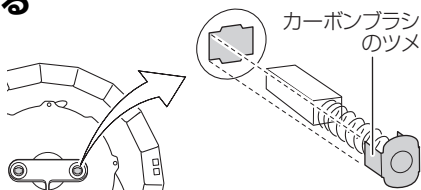
カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取出します。



3

新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシを指で押し込みます。



4

ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

故障診断

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機電動工具センターにお問い合わせください。

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
充 電 器	充電ランプが 点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P23
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P23
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P24
	充電開始後、 4時間くらい経過しても充電ランプが消えない	蓄電池または充電器の異常と考えられる	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にお問い合わせください。	P24
本 体	動かない	蓄電池の残量がない	蓄電池を充電してください。	P22 P23
		蓄電池のさし込みが 確実でない	蓄電池を引き抜いて、工本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取除いてください。 また、蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。 また、蓄電池は「カチッ！」と音がするまで確実にさし込んでください。	—
		電源が入っていない	ハウジング部の電源ボタンを押し、電源を入れてください。 また、本機にはオートパワーOFF機能が搭載されており、電源ONでレバーが引かれない状態が1分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。 電源を入れるためには、再度電源ボタンを押ししてください 電源ボタンを2回押すと電源OFF状態に戻ります。	P26
		メインパイプが 最後まで伸びていない	本機は、誤動作による事故を防ぐため、メインパイプを最後まで伸ばさないとモーターが回転しない構造となっています。 メインパイプを「カチッ！」と音がするまで確実に伸ばしてください。	P15


その他

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
本 体	動かない	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。 ハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。	P26
		大量の草を刈込んで、飛散防護カバーと刈刃に巻き付き、過負荷状態になっている	蓄電池および機体を保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったん電源OFFし、蓄電池を取りはずし、過負荷の原因を取除いてください。もう一度電源ボタンを押せば、再びご使用になれます。	P9 P27
	動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。	P22 P23
		蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具の本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。	P9
		固定レバーが締められておらず、メインパイプが作業中に縮む	固定レバーを締める	P15
	変速しない	蓄電池の残量がない	蓄電池を充電してください。	P22 P23
	振動が大きい	刈刃が正しく取付けられていない	刈刃を再度取付け直す。	P17
		刈刃にひび、割れ、曲がりがある	刈刃を交換する。	P17
		ハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P15
		飛散防護カバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P16
	刈刃の切れ味が悪い	刃先が痛んでいる	刈刃を研ぎ出す。または交換する。	P17 P28
		回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に刈刃を取付け直す。	P17
	レバーをはなしても1～3秒の間にブレーキがかからない	本体の異常と考えられる	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	P21

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00	
<p>●フリーダイヤル  0120-20-8822</p>	<p>※携帯電話からはご使用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。</p> <p>※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。</p>

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 5733-0255	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>



右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの
日立電動工具販売店にご持参ください。



その他

日立コードレス刈払機保証書

形名	CG 18DSCL			保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日	平成	年	月	日	製造番号
※お客様	お名前				
	ご住所	〒			
※販売店	住所	〒 電話()			
	店名				

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 一般使用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機電動工具センターにお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is only Japan)

 日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)